

消 防 の 沿 革

明治時代	明治初年	藩政時代の遺風を踏襲して、各町内に自身番（火消組）を組織
	ㄥ 23年	ポンプ4組、消防組6組を総員260人で組織
	ㄥ 27年	勅令発布により、公設消防組を改組。組頭1人、小頭20人、組員250人を10部に編成し、各部に腕用ポンプ1台を配置
	ㄥ 32年	組頭1人、小頭24人、組員300人で12部に改組
	ㄥ 39年	蒸気ポンプ1台購入配置
	ㄥ 30～45年	腕用ポンプ12台を購入、各部に配置
大正時代	大正 4年	消火器隊を各町内に組織
	ㄥ 5年	消火器隊を義勇消防隊と改称
	ㄥ 6年	ガソリンポンプ1台購入配置
	ㄥ 12年	市内篤家成田太助氏他9人の寄贈により自動車ポンプ1台配置 若松警察署と郵便局との間に火災専用電話設置
昭和前期	昭和14年	勅令により消防組防護団を合併、警防団に改組。警防団に常備消防本部を置く。部長以下14人、自動車ポンプ2台を配置。又団体本部内に庶務部、避難所管理部、警護部、配給部、工作部、消毒部、救護部、交通整理部を置き、全地域を52分団とした。
	ㄥ 18年	警防団本部の組織を改組し、庶務部、救護部、常備消防部の三部制を実施
	ㄥ 19年	消防団本部庁舎建設後援会の後援により、市内栄町210番地に庁舎新築
	ㄥ 22年	勅令により、警防団を消防団に改組
自治体 消防 時代	ㄥ 23年	消防組織法が施行され、自治体消防として発足、消防法施行される。
	ㄥ 24年	常備消防本部を廃し、消防本部、消防署を設置
	ㄥ 26年	北会津郡、町北町合併
	ㄥ 30年	湊村、一箕村、高野村、神指村、門田村、大戸村、東山村を合併し、会津若松市と改称
	ㄥ 31年	消防本部に消防専用無線電話（中短波）を設置
	ㄥ 32年	職員10人増員、消防長以下44人となる。
	ㄥ 33年	市役所屋上に火災報知用拡声施設を設置（出力240W）
	ㄥ 35年	消防庁舎建設協力会の協力により、旧庁舎を取り壊し庁舎建設に着手 少年消防クラブ誕生
	ㄥ 36年	鉄筋コンクリート2階建の消防庁舎竣工 総工費13,358千円、延面積695.32㎡、敷地面積572.44㎡
	ㄥ 38年	消防職員、消防長以下50人となる。
	ㄥ 39年	消防職員、消防長以下52人となる。専任消防長制度施かれる。 電話自動化（ダイヤル式）により119番設置
	ㄥ 40年	住居表示実施に伴い、消防本部、署の所在地は従来の栄町210番から栄町5番20号となる。 会津若松市消防署西出張所開設 所在地、湯川町5番41号、敷地面積1,712.105㎡、建物延面積169.77㎡ 消防職員、消防長以下59人となる。
	ㄥ 41年	会津若松市消防署の一部改正、6係、1救急隊、1出張所となり、救急業務を開始する。 消防職員、消防長以下66人となる。
ㄥ 42年	会津坂下町及び猪苗代消防団常備部々員の初任教養を実施（委託教養）	

自治体消防時代	昭和43年	猪苗代町消防団常備部々員の委託教養を実施 屈折はしご付消防ポンプ自動車を購入配置 消防職員4人増員、消防長以下70人となる。
	ㄥ 44年	会津坂下町消防団常備部救急要員教養を実施（委託教養） 電話局4局設置に伴い、4局119番増設される。 斎藤号、ライオンズ号入魂式挙行、本部、署に配置 菊地司令補（当時消防士）町北町火災現場へ出動途上殉職、市内自在院にて消防葬を執行
広域消防準備時代	ㄥ 44.12.23	消防職員8人増員、消防長以下78人となる。
	ㄥ 45. 9.12	会津若松地方広域市町村圏促進協議会を結成
	ㄥ 46. 7. 3	会津若松市外13町村が広域圏に指定を受ける。
	ㄥ 46. 7.14	会津若松地方広域市町村圏設定協議書交換～設定（県知事と関係市町村）
	ㄥ 46.11. 5	広域市町村圏の基本構想、基本計画の作成開始
	ㄥ 47. 2.25	会津若松地方広域市町村圏協議会の廃止について各町村の議長に提案方要請するとともに、地方広域市町村圏整備組合の設立について議会に提案方規約を添えて要望した。
	ㄥ 47. 3. 1	会津若松市を除く13町村に対し、消防本部、署、義務設置町村政令指定の内定を受ける。
	ㄥ 47. 3. 7	昭和47年度における消防本部、署の消防施設及び人員整備計画を県消防防災課に提出
広域消防（組合消防）時代	ㄥ 47. 4. 1	福島県指令知第346号により、会津若松地方広域市町村圏整備組合の設立が福島県知事から許可される。 会津若松市を拠点都市として、北会津村、会津坂下町、柳津町、河東村、湯川村、会津高田町、本郷町、新鶴村、三島町、金山町、昭和村、猪苗代町、磐梯町の1市8町5村をもって「会津若松地方広域市町村圏整備組合」が設立され、同日組合消防が発足
	ㄥ 47. 4. 1	会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部、署となる。 組合消防の発足に伴い、既設会津坂下町及び猪苗代町消防団常備部（消防自動車2台、救急自動車2台、人員24人）を吸収して1本部1署3出張所（消防自動車8台、救急自動車3台、人員98人）をもって広域消防業務開始 会津若松市消防長 松崎武勇 氏が組合消防発足とともに組合消防長に就任、消防正監に昇格
	ㄥ 47. 4.15	消防組織法第10条の規定により、会津若松市を除く組合構成13町村が自治省告示第106号により消防本部及び消防署を置かなければならない町村に指定
	ㄥ 47. 5.20	日本損害保険協会から救急自動車1台寄贈を受ける。
	ㄥ 47. 6.15	昭和47年5月22・23日の両日にわたり実施した採用試験により、消防職員56人、事務吏員（女）2人の計58人を採用し、消防職員総数156人となる。
	ㄥ 47.12.25	組合消防署、会津高田出張所開設 鉄筋コンクリート造一部2階建、延面積348.25㎡、工費20,140千円、敷地面積716.00㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員8人を配置 組合消防署、昭和分遣所開設 鉄筋コンクリート造平屋建、建築面積110.18㎡、工費6,800千円、敷地面積510.00㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員3人を配置

広 域 消 防 （ 組 合 消 防 ） 時 代	昭和48. 1.15	<p>組合消防署、十文字、柳津、金山出張所開設 十文字出張所 鉄筋コンクリート造一部2階建、建築面積315.84㎡、工費19,148千円、敷地面積991.50㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員8人を配置</p> <p>柳津出張所 鉄筋コンクリート造一部2階建、建築面積189.00㎡、工費11,000千円、敷地面積383.00㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員8人を配置</p> <p>金山出張所 鉄筋コンクリート造一部2階建、建築面積189.00㎡、工費10,700千円、敷地面積495.00㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員8人を配置</p>
	ㄥ 48. 2.10	社団法人日本自動車工業会から救急自動車1台寄贈を受ける。
	ㄥ 48. 3.15	会津若松地方広域市町村圏整備組合消防署に職員8人、会津高田出張所及び十文字出張所に各7人を増員配備
	ㄥ 48. 4. 1	昭和48年度分第一期消防職員26人を採用し、消防職員総数175人となる。
	ㄥ 48. 7. 1	昭和48年度分第二期消防職員18人を採用し、消防職員総数192人となる。
	ㄥ 49. 3.20	<p>組合消防署、猪苗代出張所、会津坂下出張所開設 猪苗代出張所 鉄筋コンクリート造一部2階建、延面積349.24㎡、工費26,040千円、敷地面積1,027.42㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員17人を配置</p> <p>会津坂下出張所 鉄筋コンクリート造一部2階建、延面積349.24㎡、工費26,940千円、敷地面積813.76㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員15人を配置</p>
	ㄥ 49. 3.30	<p>組合消防署、小松出張所開設 鉄筋コンクリート造一部2階建、延面積316.00㎡、工費22,640千円、敷地面積1,395.50㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員15人を配置</p>
	ㄥ 49. 4. 1	組合消防署、レンジャー隊組織確立
	ㄥ 49. 4. 6	松崎消防長退職に伴い、新消防長 渡辺福利 氏就任
	ㄥ 49. 6.25	フロックマン教育実施される。(6日間)
	ㄥ 49. 8. 9	財団法人日本船舶振興会から救急自動車1台寄贈を受ける。
	ㄥ 49. 9.20	会津若松地方危険物安全協会から査察広報車1台寄贈を受ける。
	ㄥ 50.10.26	会津磐梯ライオンズクラブから赤バイ（ホンダCD125K5型）3台寄贈を受ける。
	ㄥ 50.11.28	東北電力(株)福島支店からレンジャー用訓練塔寄贈を受ける。 訓練用鉄塔建設、A塔18.4m、B塔19.2m
	ㄥ 51. 2. 6	速消車水-II型更新、本署に配備
	ㄥ 51. 3.31	日本損害保険協会から救急自動車1台寄贈を受ける。
	ㄥ 51. 4. 3	<p>消防署、三島分遣所開設 鉄筋コンクリート造平屋建、建築面積163.62㎡、敷地面積971.20㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員2人を配置</p>

広域 消 防 （ 組 合 消 防 ） 時 代	昭和51. 4.15	消防署、磐梯分遣所開設 鉄筋コンクリート造平屋建、建築面積163.62㎡、敷地面積729.37㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、赤バイ1台、超短波消防専用無線電話装置、人員2人を配置
	ㄥ 51. 5.14	組合消防署、磐梯、三島分遣所合同竣工式挙行（於：会津若松市「今村ビル」）
	ㄥ 52. 7.12	日本消防協会から広報車（バン）1台寄贈を受ける。
	ㄥ 52. 8.31	会津若松市一箕町大字上蚕養字石堂境474番地の5に組合庁舎完成 鉄筋コンクリート造一部5階建、延面積2,458.18㎡、工費334,320千円、敷地面積2,218.632㎡
	ㄥ 52. 9. 8	会津若松地方危険物安全協会から広報車1台寄贈を受ける。 会津若松地方消防設備協会、防火管理者会から広報車1台寄贈を受ける。
	ㄥ 52. 9.13	白楡会から救急自動車1台寄贈され、組合消防署配備
	ㄥ 52. 9.20	消防署（1階）、消防本部（2階）、新庁舎にて業務開始
	ㄥ 52. 9.28	会津若松地方広域市町村圏整備組合庁舎落成式挙行
	ㄥ 52.10. 1	機構改革により猪苗代、会津坂下、会津高田の各出張所を分署と改称 職員定数212人に改正 消防職員10人採用し、消防職員総数201人となる。
	ㄥ 52.11.26	消防自動車（CD-II型）1台更新、西出張所に配備
	ㄥ 53. 2.24	救助工作車購入、組合消防署に配備
	ㄥ 53. 4. 1	消防職員11人採用し、消防職員総数212人となる。
	ㄥ 53. 4. 3	渡辺消防長退職に伴い、新消防長 芳賀佐蔵 氏就任
	ㄥ 53.10. 1	機構改革により1本部3署1分署8出張所となる。 会津若松消防署、消防署会津高田分署、消防署会津高田分署小松出張所、消防署西、十文字の各出張所 猪苗代消防署、消防署磐梯出張所 会津坂下消防署、消防署柳津、三島、金山、昭和の各出張所と改称
	ㄥ 53.10.23	（財）日本防火協会から9人乗マイクロバス型広報車1台寄贈を受ける。
	ㄥ 53.11.14	超短波無線市町村波第2装置免許許可される。
	ㄥ 54. 2.26	化学消防自動車II型1台購入、会津若松消防署に配備
	ㄥ 54. 3.16	圏域内の既設婦人消防隊をもって、会津若松地方広域婦人消防隊連絡協議会が結成発足する。
	ㄥ 54. 5.15	会津若松地方消防設備協会創立10周年記念事業として広報車（トヨタ カリーナバン）1台寄贈を受ける。
	ㄥ 54. 9.25	ヨークベニマルから救急自動車（II-B型）2台寄贈を受け、会津若松消防署、会津坂下消防署に配備 救急自動車（II-B型）1台購入、猪苗代消防署に配備
ㄥ 54.12.25	消防自動車（CD-II型）3台購入（2台増強、1台更新）会津若松消防署、猪苗代消防署、会津坂下消防署に配備	
ㄥ 55. 7.17	広報車（スバル レオーネ）2台更新、会津若松消防署、同西出張所に配備	
ㄥ 55. 8.23	救急自動車（II-B型）2台更新、会津若松消防署会津高田分署、会津坂下消防署昭和出張所に配備	
ㄥ 55.11.26	消防自動車（CD-II型）2台、（CD-I型）1台購入（2台更新、1台増強）会津若松消防署会津高田分署、同十文字出張所、会津坂下消防署柳津出張所に配備	
ㄥ 56. 4. 1	芳賀消防長退職に伴い、新消防長 柗屋和夫 氏就任	

広域消防 (組合消防) 時代	昭和56. 6.23	有限会社ナガミネからミニ査察車(スバル レックス)2台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	ㄥ 56. 8. 7	広報車(スバル レオーネ)2台更新、会津若松消防署会津高田分署、猪苗代消防署に配備
	ㄥ 56. 8.25	救急自動車(Ⅱ-B型)2台更新、会津若松消防署十文字出張所、会津坂下消防署柳津出張所に配備
	ㄥ 56.10. 2	会津坂下消防署増築 鉄筋コンクリート造2階建、延面積481.49㎡、建築面積261.09㎡となる。
	ㄥ 56.10.29	消防自動車(CD-I型)1台更新、会津坂下消防署金山出張所に配備
	ㄥ 57. 2.22	林野火災特別地域対策事業により、2地域が福島県より指定を受ける。 会津両沼地区(会津坂下町、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津高田町、会津本郷町、新鶴村) 会津東部地区(猪苗代町、磐梯町、会津若松市、河東町)
	ㄥ 57. 2.28	住居表示の変更により、消防本部及び会津若松消防署の住所が会津若松市中央三丁目10番12号となる。
	ㄥ 57. 3.15	会津若松地方防火管理者会から、ビデオカメラ等一式寄贈を受け消防本部に配備
	ㄥ 57. 4. 1	会津若松市より派遣を命ぜられていた62人の職員の派遣を解く。 消防職員定数224人となる。 消防職員12人増員し、消防職員総数224人となる。
	ㄥ 57. 8. 2	広報車(スバル レオーネ)2台更新、会津坂下消防署、会津若松消防署十文字出張所に配備
	ㄥ 57. 8.31	救急自動車(Ⅱ-B型)2台更新、会津若松消防署西出張所、会津若松消防署会津高田分署小松出張所に配備
	ㄥ 57.10. 1	機構改革により本部に予防課を新設、1本部(総務課・予防課・消防課)3署1分署8出張所となる。
	ㄥ 57.10.28	消防指揮車(トヨタ ダイナ)1台購入、会津若松消防署に配備
	ㄥ 57.12.20	消防自動車(CD-I型)1台更新、会津坂下消防署昭和出張所に配備
	ㄥ 57.12.25	猪苗代消防署増築 鉄筋コンクリート造2階建、延面積488.83㎡、建築面積346.54㎡となる。
	ㄥ 58. 4. 1	榎屋消防長退職に伴い、新消防長 高島好昭 氏就任
	ㄥ 58. 7.25	広報車(スバル レオーネ)2台更新、会津坂下消防署金山出張所、会津坂下消防署昭和出張所に配備
	ㄥ 58. 9. 4	(財)日本消防協会から電源照明車(トヨエース)寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	ㄥ 58. 9. 8	救急自動車(Ⅱ-B型)2台更新、会津坂下消防署金山出張所、猪苗代消防署磐梯出張所に配備
	ㄥ 58.10.24	消防自動車(CD-II型)1台更新、会津若松消防署会津高田分署小松出張所に配備
ㄥ 59. 3.27	(財)日本消防協会から救急自動車(Ⅱ-B型)1台寄贈を受け、会津坂下消防署三島出張所に配備	
ㄥ 59. 7. 4	小型動力ポンプ(B-2型)1台購入、会津若松消防署に配備	
ㄥ 59. 9. 3	救急自動車(Ⅱ-B型)1台更新、会津若松消防署に配備	
ㄥ 59.12.24	消防自動車(CD-II型)2台更新、会津坂下消防署三島出張所、猪苗代消防署磐梯出張所に配備	

広域消防（組合消防）時代	昭和59.12.25	広報車（スバル レオーネ）2台更新、会津若松消防署会津高田分署小松出張所、会津坂下消防署柳津出張所に配備
	ㄥ 60. 3.29	会津坂下消防署、猪苗代消防署、会津若松消防署会津高田分署、電飾看板新設
	ㄥ 60. 4. 1	高島消防長退職に伴い、新消防長 証屋和夫 氏就任
	ㄥ 60. 4.24	福島県共済農業共同組合から救急自動車（Ⅱ-B型）1台寄贈を受け猪苗代消防署に配備
	ㄥ 60. 5. 8	会津若松地方危険物安全協会創立30周年記念事業としてマイクロバス（トヨタコースター 29人乗）1台寄贈を受け消防本部に配備
	ㄥ 60. 6.22	広報車（スバル レオーネ）2台更新、猪苗代消防署磐梯出張所、会津坂下消防署三島出張所に配備
	ㄥ 60.10. 9	消防自動車（CD-Ⅰ型）2台更新、会津若松消防署、会津坂下消防署に配備
	ㄥ 60.10.21	会津若松ロータリークラブから消防本部旗一式寄贈を受ける。
	ㄥ 60.12.16	会津坂下消防署昭和出張所増改築 鉄筋コンクリート造平屋建、建築面積133.11㎡となる。
	ㄥ 61. 2.21	会津若松消防署西出張所移転用地として9,187㎡を取得する。
	ㄥ 61. 4.25	普通乗用車1台更新、消防本部に配備
	ㄥ 61. 5. 8	広報車（スバル レオーネ）2台更新、会津若松消防署に配備
	ㄥ 61. 8.30	日本消防協会から救急自動車（Ⅱ-B型）1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	ㄥ 61. 9. 3	星源孝 氏から水槽付消防ポンプ自動車（水-Ⅱ型）1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	ㄥ 61.12. 1	会津若松南ロータリークラブからレスキュー隊旗一式寄贈を受け、会津若松消防署西出張所に配備
	ㄥ 61.12.10	消防自動車（BD-Ⅰ型）1台更新、猪苗代消防署に配備 消防自動車（水-Ⅱ型）1台購入、会津若松消防署西出張所に配備
	ㄥ 62. 3. 4	会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部並びに湯川村消防団が自治省消防庁長官より表彰（竿頭綬）される。
	ㄥ 62. 3.25	会津若松消防署西出張所の移転に伴う会津若松消防署城南分署落成披露式を行う。
	ㄥ 62. 4. 1	会津若松消防署城南分署開設 鉄筋コンクリート及び鉄骨造一部5階建、敷地面積10,260㎡、建築面積465.97㎡、延面積847.60㎡、消防車両6台、人員17人配置、1本部3署2分署7出張所となる。
	ㄥ 62. 5.11	広報車1台購入、会津若松消防署に配備
	ㄥ 62. 6. 5	（財）日本防火協会から防火広報車（トヨタ ハイエース）1台寄贈を受ける。
	ㄥ 62. 6. 9	広報車（スバル レオーネ）1台更新、猪苗代消防署に配備
	ㄥ 62. 9. 9	山ノ内製薬株式会社から救急自動車（日産 キャラバン）1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	ㄥ 62.10.26	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）1台更新、会津若松消防署会津高田分署に配備
	ㄥ 62.12.10	水槽付救助工作車（日野）2台購入、会津坂下消防署、猪苗代消防署に配備
	ㄥ 62.12.17	30m級はしご付消防自動車を購入、会津若松消防署に配備
	ㄥ 62.12.26	30m級はしご付消防自動車納入披露、祝賀式を行う。
	ㄥ 63. 6.29	広報車（スバル レオーネ）1台更新、会津坂下消防署に配備
	ㄥ 63. 7.25	会津スバル自動車株式会社からミニ査察車（スバル レックスコンビ）1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備

広域 消防 （組 合 消 防 ） 時 代	昭和63. 8. 1	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）1台更新、猪苗代消防署に配備
	〳 63. 9.29	消防自動車（CD-Ⅱ型）1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 63.12.27	救助工作車1台購入、会津若松消防署に配備
	平成元. 3. 1	会津若松市はしご車購入後援会から広報車（スバルレオーネ）1台寄贈を受け会津若松消防署に配備
	〳 元. 4. 1	榎屋消防長退職に伴い、新消防長 鈴木忠三 氏就任
	〳 元. 8.30	（財）日本防火協会から救急自動車（Ⅱ-B型）1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	〳 元.11.15	消防自動車（CD-Ⅱ型4WD）1台更新、会津若松消防署に配備 救急自動車（Ⅱ-B型）1台更新、会津坂下消防署に配備
	〳 2. 4. 1	鈴木消防長退職に伴い、新消防長 宮本昇 氏就任
	〳 2. 9.14	広報車（スバル レオーネ4WD）1台更新、猪苗代消防署に配備
	〳 2.12.25	消防自動車（CD-Ⅱ型4WD）1台更新、会津坂下消防署に配備
	〳 3. 1.25	（社）日本損害保険協会から救急自動車（Ⅱ-B型4WD）1台寄贈を受け、会津坂下消防署昭和出張所に配備
	〳 3. 7. 2	広報車（マツダ ファミリア4WD）1台更新、会津若松消防署会津高田分署に配備
	〳 3.10.11	（社）日本損害保険協会から化学消防自動車（Ⅱ型）1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	〳 3.12. 6	消防自動車（CD-Ⅰ型4WD）2台更新、会津若松消防署会津高田分署、会津若松消防署十文字出張所に配備
	〳 4. 3.30	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）1台更新、会津坂下消防署柳津出張所に配備
	〳 4. 4. 1	消防職員9人採用、消防職員総数233人となる。
	〳 4. 6.16	会津若松地方防火管理者会から消防業務用連絡車（トヨタ ビスタ4WD）1台寄贈を受け、消防本部に配備
	〳 4. 8.21	広報車（トヨタ カローラ4WD）1台更新、会津若松消防署城南分署に配備
	〳 4. 8.25	会津若松地方広域消防基本計画が制定される。 職員定数289人に改正
	〳 4.11.30	消防自動車（CD-Ⅰ型4WD）1台更新、会津坂下消防署柳津出張所に配備
	〳 5. 1.20	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）1台更新、会津若松消防署十文字出張所に配備
	〳 5. 4. 1	宮本消防長退職に伴い、新消防長 小檜山秀政 氏就任 消防職員16人採用、消防職員総数246人となる。
	〳 5. 7.16	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）1台更新、会津若松消防署城南分署に配備
	〳 5.10. 1	勤務時間 週40時間体制実施される。
	〳 5.10.20	広報車（トヨタ カローラ4WD）2台更新、会津坂下消防署、会津若松消防署十文字出張所に配備
	〳 5.10.26	消防自動車（CD-Ⅰ型4WD）1台更新、会津若松消防署城南分署に配備
	〳 6. 3.23	消防緊急通信指令システム構築、消防本部通信指令室を城南分署2階に移転
〳 6. 4. 1	小檜山消防長退職に伴い、新消防長 三星市三 氏就任 消防職員14人採用、消防職員総数257人となる。 機構改革により通信指令室が消防課より独立、1本部（総務課、予防課、消防課、通信指令室）3署2分署7出張所となる。	

広域消防 (組合消防) 時代	平成 6. 8.25	救急自動車 (Ⅱ-B型4WD) 1台更新、猪苗代消防署に配備
	〳 6. 8.30	広報車 (トヨタ カルディナ4WD) 2台更新、会津坂下消防署金山出張所、会津坂下消防署昭和出張所に配備
	〳 6. 9.13	救急自動車 (Ⅱ-B型4WD) 1台更新、会津坂下消防署金山出張所に配備
	〳 6.10. 3	消防本部総務課、予防課、消防課、会津若松消防署の電話をダイヤルイン方式に切り替える。
	〳 6.10.20	消防無線中継システム運用開始、背炙り山、惣山に無線中継所を構築
	〳 6.12. 9	消防自動車 (CD-Ⅰ型4WD) 1台更新、会津坂下消防署金山出張所に配備
	〳 6.12.27	水槽付消防自動車 (水Ⅰ-B型) 2台更新、会津若松消防署会津高田分署、会津若松消防署十文字出張所に配備
	〳 7. 1. 1	三星消防長退職に伴い、新消防長 鈴木茂 氏就任
	〳 7. 2.10	小型動力ポンプ付水槽車 (Ⅱ型) 1台購入、会津若松消防署に配備
	〳 7. 2.28	福島総合警備保障から広報車 (トヨタ カルディナ4WD) 1台寄贈を受け、会津若松消防署会津高田分署小松出張所に配備
	〳 7. 4. 1	消防職員12人採用、消防職員総数267人となる。 機構改革により会津高田分署が署に格上げ、1本部 (総務課、予防課、消防課、通信指令室) 4署1分署7出張所となる。
	〳 7. 4.27	J A 福島共済連から救急自動車 (Ⅱ-B型4WD) 1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	〳 7. 8.31	広報車 (スバル レガシーワゴン4WD) 2台更新、会津坂下消防署柳津出張所、会津高田消防署に配備
	〳 7. 9. 1	救急自動車 (Ⅱ-B型4WD) 1台更新、猪苗代消防署磐梯出張所に配備
	〳 8. 1.19	高規格救急自動車 (4WD) 1台購入、会津若松消防署に配備
	〳 8. 1.26	水槽付消防自動車 (水Ⅰ-B型) 1台更新、会津高田消防署小松出張所に配備
	〳 8. 3.28	調査車 (トヨタ ハイエース4WD) 1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 8. 3.29	消防自動車 (CD-Ⅰ型4WD) 1台更新、会津坂下消防署三島出張所に配備
	〳 8. 4. 1	消防職員9人採用、消防職員総数275人となる。
	〳 8. 7.24	乗用車 (トヨタ クラウン4WD) 1台更新、消防本部に配備
	〳 8. 8. 5	組合庁舎敷地内の訓練塔撤去
	〳 8. 8. 6	救急自動車 (Ⅱ-B型4WD) 2台更新、会津坂下消防署、会津坂下消防署三島出張所に配備
	〳 8. 8. 8	人員搬送車 (マイクロバス29人乗) 1台更新、消防本部に配備
	〳 8. 9. 2	広報車 (スバル レガシーワゴン、レオーネ4WD) 2台更新、猪苗代消防署磐梯出張所、会津坂下消防署三島出張所に配備
	〳 8. 9.30	会津若松消防署城南分署に車庫 (97.2㎡) 新築
	〳 8.11.18	住居表示の変更により、消防本部通信指令室・会津若松消防署城南分署の住所が会津若松市古川町9番21号になる。
〳 8.12.25	水槽付消防自動車 (水Ⅱ型) 1台更新、会津若松消防署に配備 消防自動車 (CD-Ⅰ型4WD) 1台更新、猪苗代消防署に配備	
〳 8.12.30	福島県総合情報システム運用開始	
〳 9. 1.30	圏域内の119番通報を通信指令室に集約	

広域消防 (組合消防) 時代	平成 9. 8.18	広報車 (トヨタ カルディナ4WD) 1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 9.12.17	高規格救急自動車 (4WD) 1台購入、猪苗代消防署に配備
	〳 9.12.25	消防自動車 (CD- I 型4WD) 1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 10. 4. 1	鈴木消防長退職に伴い、新消防長 川島仁 氏就任 消防職員4人採用、消防職員総数274人となる。 携帯電話、自動車電話等から119番通報受理運用開始
	〳 10. 4.23	(財) 日本消防協会から救急自動車 (II-B型4WD) 1台寄贈、会津高田消防署小松出張所に配備
	〳 10. 7.23	広報車 (トヨタ カルディナ4WD) 1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 10.12.17	消防自動車 (CD- I 型4WD) 1台更新、会津坂下消防署に配備
	〳 11. 5.31	会津若松地方消防設備協会から広報車 (トヨタ ガイア4WD) 1台寄贈、消防本部に配備
	〳 11.10. 1	猪苗代消防署新築移転 (猪苗代町字梨木西19番1) 鉄筋コンクリート造2階建、敷地面積3,438.41㎡、延面積1,168.41㎡
	〳 11.10. 8	猪苗代消防署新築移転に伴う落成披露式を行う。
	〳 11.11.30	救急自動車 (II-B型4WD) 1台更新、会津高田消防署に配備
	〳 11.12.20	消防自動車 (水-II型) 1台更新、会津若松消防署城南分署に配備
	〳 11.12.31	西暦2000年問題 (Y2K) 対策のため、全職員が署所に待機して特別警戒体制をとる。
	〳 12. 4. 1	川島消防長退職に伴い、新消防長 佐々木通 氏就任。 消防職員3人採用、消防職員総数275人となる。
	〳 12. 7.31	救急自動車 (II-B型4WD) 1台更新、会津坂下消防署に配備
	〳 12.12.25	水槽付消防自動車 (水 I-B型) 1台更新、猪苗代消防署に配備
	〳 13. 4. 1	消防職員1人採用、消防職員総数274人となる。
	〳 13.10.29	救急自動車 (II-B型4WD) 1台更新、会津坂下消防署昭和出張所に配備
	〳 14. 4. 1	佐々木消防長退職に伴い、新消防長 小川久芳 氏就任 消防職員3人採用、消防職員総数273人となる。
	〳 14.10.21	資機材搬送車1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 14.10.23	高規格救急自動車 (4WD) 1台購入、会津坂下消防署に配備
	〳 15. 4. 1	消防職員5人採用、消防職員総数274人となる。
	〳 15. 7. 1	小川消防長退職に伴い、新消防長 齋藤精一 氏就任
	〳 15. 9.18	救急自動車 (II-B型4WD) 1台更新、会津若松消防署城南分署に配備
	〳 15.11.13	高規格救急自動車 (4WD) 1台購入、会津高田消防署に配備
	〳 15.11.28	広報車 (三菱パジェロ4WD) 1台購入、猪苗代消防署に配備 広報車 (ダイハツ マックス4WD) 1台購入、会津若松消防署に配備
〳 15.12.25	消防ポンプ自動車 (水 I-A型) 1台更新、会津坂下消防署に配備	
〳 16. 4. 1	消防職員6人採用、消防職員総数274人となる。 機構改革により消防本部において課係制を廃し、グループ制を導入、1本部 (総務グループ、予防グループ、警防グループ、指令グループ) 4署1分署7出張所となる。 通信指令室を通信指令センターと改称 管内基幹4署予防係に日勤者を配置	

広域消防（組合消防）時代	平成16.11. 1	北会津郡北会津村の会津若松市への編入合併に伴い、会津高田消防署小松出張所が会津若松消防署小松出張所となる。
	〳 16. 9.29	広報車（スバル プレオ4WD）2台購入、会津若松消防署、会津坂下消防署に配備
	〳 17. 3. 1	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）2台更新、猪苗代消防署、会津坂下消防署金山出張所に配備
	〳 17. 3. 8	高規格救急自動車（4WD）2台更新、会津若松消防署、猪苗代消防署に配備
	〳 17. 4. 1	消防職員4人採用、消防職員総数273人となる。
	〳 17. 5.20	会津若松地方危険物安全協会から災害対応指揮車（トヨタ ハイラックスサーフ）1台寄贈、会津若松消防署に配備
	〳 17. 5.20	会津若松消防署配備の広報車（スバル プレオ4WD）を猪苗代消防署に配置替
	〳 17. 8.25	（財）日本宝くじ協会から消火・通報訓練車（マツダ）1台寄贈、消防本部に配備
	〳 17.10. 1	大沼郡会津高田町・大沼郡新鶴村・大沼郡会津本郷町の2町1村が合併し会津美里町となる。この合併に伴い会津高田消防署が会津美里消防署となる。
	〳 17.11. 1	河沼郡河東町の会津若松市への編入合併
	〳 18. 4. 1	消防職員10人採用、消防職員総数274人となる。
	〳 18.10. 1	消防職員1人採用、消防職員総数274人となる。 機構改革により2部制から3部制とする。
	〳 18.10.31	広報車（スバル プレオ4WD）1台更新、会津美里消防署に配備
	〳 18.12. 5	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）2台更新、会津若松消防署及び猪苗代消防署磐梯出張所に配備
	〳 18.12.13	消防自動車（CD-Ⅰ型4WD）1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 19. 4. 1	齋藤消防長人事異動に伴い、新消防長 二瓶 勝 氏就任 消防職員16人採用、消防職員総数280人となる。
	〳 19. 9. 1	会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部、会津若松市北会津町中荒井字諏訪前11番地 会津若松市役所北会津支所2階に移転
	〳 19.10.26	救助工作車（Ⅱ型）更新 城南分署に配備
	〳 20. 3. 4	高規格救急自動車（4WD）日本損害保険協会から寄贈、城南分署に配備
	〳 20. 4. 1	二瓶消防長退職に伴い、新消防長 鈴木新一郎 氏就任 消防職員17人採用、消防職員総数281人となる。
	〳 20.12.25	消防自動車（CD-Ⅰ型4WD）1台更新、会津坂下消防署柳津出張所に配備
	〳 21. 1.28	普通救急自動車（4WD）1台更新、会津若松消防署小松出張所に配備
	〳 21. 4. 1	消防職員18人採用、消防職員総数282人となる。
	〳 21. 9.30	広報車（ダイハツ テリオスキッド4WD）2台更新、会津若松消防署十文字出張所及び会津坂下消防署昭和出張所に配備
	〳 22. 3.19	消防自動車（CD-Ⅰ型4WD）1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 22. 4. 1	鈴木消防長退職に伴い、新消防長 桑原常義 氏就任 消防職員16人採用、消防職員総数287人となる。
〳 22. 8. 6	指揮車（三菱パジェロ4WD）2台購入、会津坂下消防署及び会津美里消防署に配備	
〳 22. 9.10	広報車（ダイハツ テリオスキッド4WD）1台更新 会津坂下消防署金山出張所に配備	
〳 23. 2.17	消防自動車（CD-Ⅰ型4WD）1台更新、会津坂下消防署金山出張所に配備	

広域消防 (組合消防) 時代	平成23. 3. 3	普通救急自動車 (4WD) 1台更新 会津若松消防署十文字出張所に配備
	ㄥ 23. 4. 1	桑原消防長退職に伴い、新消防長 山内志津夫 氏就任 消防職員14人採用、消防職員総数283人となる。 消防本部において課制への機構改革により、1本部 (総務課、予防課、警防課、指令課) 4署1分署7出張所となる。
	ㄥ 23. 4. 1	消防通信指令に関する事務を共同して管理・執行することを目的として、喜多方地方広域市町村圏組合と「会津若松地方及び喜多方地方消防通信指令事務協議会」を設置
	ㄥ 23. 8.17	指揮車 (三菱パジェロ4WD) 1台更新、会津若松消防署城南分署に配備
	ㄥ 23.10.21	広報車 (ダイハツ テリオスキッド4WD) 3台更新、会津若松消防署小松出張所、会津坂下消防署柳津出張所、会津坂下消防署三島出張所に配備
	ㄥ 23.11.25	普通救急自動車 (4WD) 1台更新、会津坂下消防署柳津出張所に配備
	ㄥ 24. 3. 1	高機能消防指令システムを導入し、会津若松地方・喜多方地方消防指令センターの運用開始
	ㄥ 24. 3.27	消防自動車 (CD- I 型4WD) 1台更新、会津若松消防署十文字出張所に配備
	ㄥ 24. 4. 1	山内消防長退職に伴い、新消防長 六角篤 氏就任 消防職員17人採用、消防職員総数288人となる。
	ㄥ 24. 4. 5	J A 共済連福島から高規格救急自動車 (4WD) 1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	ㄥ 24. 6.15	会津若松地方防火管理者会から消防業務用連絡車 (トヨタ ラッシュ) 1台寄贈を受け、消防本部に配備
	ㄥ 24. 8.17	広報車 (スズキ ジムニー4WD) 1台更新、猪苗代消防署磐梯出張所に配備
	ㄥ 25. 3.21	水槽付消防自動車 (水 I -B) 1台更新、会津美里消防署に配備
	ㄥ 25. 3.25	化学消防自動車 (II 型) 1台更新、会津若松消防署に配備
	ㄥ 25. 4. 1	六角消防長退職に伴い、新消防長 平岡孝一郎 氏就任 消防職員17人採用、消防職員総数288人となる。 機構改革により3部制から2部制とする。 会津若松消防署城南分署に消防本部訓練センターを設立
	ㄥ 25. 4.24	福島防災有限会社から乗用環境整備車 (草刈機) 1台寄贈を受け、会津若松消防署城南分署に配備
	ㄥ 25. 8. 9	広報車 (トヨタ サクシード) 1台更新、会津若松消防署に配備
	ㄥ 25.10.25	高規格救急自動車 (4WD) 2台更新、猪苗代消防署及び会津坂下消防署に配備
	ㄥ 25.11. 6	30m級はしご付消防自動車を26年ぶりに更新
	ㄥ 25.12.24	消防自動車 (CD- I 型4WD) 2台更新、会津若松消防署小松出張所及び猪苗代消防署磐梯出張所に配備
	ㄥ 26. 4. 1	平岡消防長退職に伴い、新消防長 小田切秀夫 氏就任 消防職員20人採用、消防職員総数287人となる。
	ㄥ 26. 8.27	乗用車 (トヨタ カローラフィールダーハイブリッド) 1台更新、消防本部に配備
	ㄥ 26.10.29	広報車 (トヨタ カローラフィールダー) 1台更新、会津若松消防署に配備
	ㄥ 27. 4. 1	小田切消防長退職に伴い、新消防長 築取正喜 氏就任 消防職員15人採用、消防職員総数286人となる。
	ㄥ 27.11. 4	無線中継車 (トヨタ レジアスエース) 1台更新、会津若松消防署に配備
	ㄥ 27.11.13	高規格救急自動車 (4WD) 1台更新、会津若松消防署城南分署に配備

広域消防 (組合消防) 時代	平成27.11.26	指揮車（三菱パジェロ）1台更新、消防本部に配備
	〳 28. 3. 1	消防救急デジタル無線システム運用開始
	〳 28. 4. 1	築取正喜消防長退職に伴い、新消防長 眞部文夫 氏就任 消防職員4人採用、消防職員総数285人となる。
	〳 28. 5.10	福島防災有限会社から消防本部旗一式寄贈を受ける。
	〳 28. 9.28	高規格救急自動車（4WD）2台更新、会津若松消防署、会津美里消防署に配備
	〳 28.11.22	一般財団法人救急振興財団から救急普及啓発広報車1台寄贈を受け、会津若松消防署城南分署に配備
	〳 28.12.14	消防自動車（CD- I 型4WD）2台更新、猪苗代消防署、会津坂下消防署三島出張所に配備
	〳 29. 3.31	会津若松地方広域市町村圏整備組合庁舎の耐震補強及び大規模改修工事完了
	〳 29. 4. 1	消防職員3人採用、消防職員総数286人となる。